

# 議会だより

## No.82

令和8年2月10日

# なななわ



栃木県那珂川町

テーマ(まなび)

町の魅力は何？

### 主な内容

12月定例会等の結果 ここが聞きたい！	一般質問(7人)	(2P～4P)	議会報告会	(14P～15P)
高校生との意見交換会		(5P～11P)	団体との意見交換会ほか	(16P～17P)
		(12P～13P)	モニター意見・議会委員会のうごき等	(18P～20P)

第6回議会  
12月定例会

# 真剣に議会に耳を傾ける ～中学生が議会を傍聴～

12月3日(定例会2日目)に主権者教育の一環として、馬頭中学校と小川中学校の代表生徒13名が議場を訪れ、一般質問を傍聴しました。中学生たちは、張り詰めた議場の雰囲気を感じ、真剣な表情で町執行部とのやりとりに耳を傾けました。

## 一般質問を傍聴した中学生の感想



町の施策などを、どのように案が出て、どのようにして決められているのかわなかったのが、今日、改めて知ることができて良かったです。



町民の立場になり、それぞれの観点から話し合いがされていて、答弁に対して考える時間がないのにも関わらず、スムーズに話し合いをされていて、今後の勉強になりました。



町の細かい問題でも住民を第一に考え、解決させ、町を活発にしようとする姿勢がとても素晴らしかった。議会の場には立てなくとも、町民として応援したいと思いました。



今まで知らなかった町のことを、議会という町の中心の部分から見ることができ、とても良かったと思いました。一町民として思っていることや、感じていることが多くあるので、誇れる那珂川町になってほしいと思いました。



多くの課題をもつ那珂川町ですが、住民のために解決していこうと話し合ってくださっている様子を見て感動しました。



## 定例会

令和7年第6回那珂川町議会定例会は、12月2日に開会し、会期を5日までの4日間と定め、人権擁護委員の推薦意見や条例の一部改正などの議案審議のほか一般質問を行いました。

今期定例会には、専決処分の承認を含む34議案が上程され、全ての議案を可決しました。

## 人事案件

### ◆人権擁護委員の推薦

(全員賛成 原案可決)

川上 弘之氏(再任)

人権擁護委員について、引き続き、川上弘之氏(小川)を推薦するものです。

## 条例改正

### ◆公の施設における使用料の見直し

(全員賛成 原案可決)

当町における公の施設の使用料については、平成17年の合併以来、約20年間見直しを行っていません。約20年間の状況や維持管理経費、利用者数の変化に合わせた施設使用料とするため、各施設における条例について一部を改正するものです。

**質問** 約20年、見直しの動きはなかったのか。

**答弁** 行財政改革の計画を策定し推進してきたが、施設の使用料の改定には手を付けてこなかった。

**質問** 20年経過した今、見直しに至った理由は。

**答弁** 受益者負担の観点から定期的に見直しが必要と考えたため。

**質問** 今後の料金改定のサイクルは。

**答弁** 5年サイクルで定期的な見直しを図っていく。

**質問** 公園使用について、「占有使用」となった場合、使用者以外に入れないのか。

**答弁** 公園の広場の占有等を想定している。公園には誰でも入れる。

**質問** 屋内水泳場の定期券については料金の値下げか。

**答弁** 表記の誤りを訂正した。



### ◆那珂川町議会の議員の定数を定める条例の一部改正

(賛成多数 原案可決)

議会改革特別委員会において検討した結果、今後も見込まれる人口減少や町の財政状況などを考慮し、議員定数を現在の13人から2人減の11名とするものです。

### ◆那珂川町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

(賛成多数 原案可決)

議会改革特別委員会において検討した結果、議会活動の多様化や議員のなり手不足の解消のため、議員報酬を現在の22万円から5万円増額の27万円とするものです。

## 指定管理

### ◆那珂川町図書館に係る指定管理者の指定

(全員賛成 原案可決)

那珂川町図書館の運営と維持管理について、株式会社大高商事(宇都宮市)を指定管理者として指定するものです。  
指定の期間は、令和8年4月1日から令和13年3月31日までの5年間です。

## 補正予算

### ◆一般会計補正予算(第5号)

(全員賛成 原案可決)

一般会計補正予算は障害者福祉サービス事業に係る扶助費のほか馬頭運動場受変電設備の改修工事費など2億500万円を増額するもので、補正後の予算総額は、102億7700万円となりました。補正予算については、予算審査特別委員会に付託し、審査を行いました。

予算審査特別委員会は、12月2日の本会議散会後に招集され、8課の補正予算について審査しました。委員会における審査結果は原案のとおり可決すべきとし、12月5日の本会議において小川正典委員長から報告がありました。



予算審査の結果を報告する小川正典委員長

## 第 6 回 定例会議案採決(12月2日・5日)の状況

賛成:○ 反対:●

議案の内容		議員名	神場圭司	矢後紀夫	高野泉	福田浩二	大金清	川俣義雅	小川正典	大金市美	川上要一	小川洋一
承認第1号	令和7年度那珂川町一般会計補正予算(第4号)の専決処分の承認について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第1号	人権擁護委員の推薦意見について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第2号	那珂川町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第3号	那珂川町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第4号	那珂川町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第5号	那珂川町小川総合福祉センター条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第6号	那珂川町高齢者生産活動施設条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第7号	那珂川町緑の交流空間施設条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第8号	那珂川町まほろば農園条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第9号	那珂川町観光乗馬施設条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第10号	那珂川町緑地等利用施設条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第11号	那珂川町特産品生産施設条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第12号	那珂川町特産品展示販売施設条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第13号	那珂川町カタクリ山公園条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第14号	那珂川町ふるさとの森公園条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第15号	那珂川町ふるさと館条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第16号	那珂川町地域情報発信施設条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第17号	那珂川町公園管理及び使用に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第18号	那珂川町なす風土記の丘資料館条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第19号	那珂川町郷土資料館条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第20号	那珂川町子どもの森条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第21号	那珂川町体育施設条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第22号	那珂川町学校体育施設の開放に関する条例の一部改正について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第23号	令和7年度那珂川町一般会計補正予算(第5号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第24号	令和7年度那珂川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第25号	令和7年度那珂川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第26号	令和7年度那珂川町介護保険特別会計補正予算(第3号)の議決について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第27号	財産の取得について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第28号	那珂川町図書館に係る指定管理者の指定について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第29号	栃木県市町村総合事務組合規約の変更について	町長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	栃木県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	議長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
発委第1号	那珂川町議会基本条例の一部改正について	委員長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
発委第2号	那珂川町議会の議員の定数を定める条例の一部改正について	委員長提出	○	○	○	○	○	●	○	○	○	欠
発委第3号	那珂川町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	委員長提出	○	○	○	○	○	●	○	○	○	欠
発委第4号	那珂川町議会委員会条例の一部改正について	委員長提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠

※益子明美議長は採決に加わりません。

## 一般質問！ 高野 泉 議員

Q 新町長のこれからの町づくりについて

「将来を担う子どもたちが活躍できる力をはぐくむ」という公約について、どのように考えるか

(町長) 安心して子育てができる町、子どもたちの笑顔があふれ、未来への希望に満ち、わくわくする那珂川町を目指す



高野 泉 議員

### 新町長の町づくり

**質問** 「馬頭高校の存続」の公約について、どのように考えているか。

**答弁** 馬頭高校は、那珂川町の未来を切り開く希望。地域の宝である学校を守り、さらに発展させていくために全力を尽くす。

**質問** 「町の情報発信」における公約について、どのように考えているか。

**答弁** 情報の発信は特定の部署だけが行うものではない。全職員が

町の広報の担い手であるという意識を持ち、情報収集・発信に取り組む必要がある。町独自の魅力を多角的に発信していく体制を構築していく。

**質問** 「日常生活を快適に過ごすため」の公約について、どのように考えているか。

**答弁** この町に生まれ育った子どもたち、未来を背負う若者が、住む地域や育った環境によって進学や夢をあきらめることのない町づくりをしていかなければならない。

**質問** 「安全・安心に暮らし続けるため」という公約について、どのように考えているか。

**答弁** 那珂川を渡河する新たな道路整備等の考え方の下、関係機関、県との連携を強固にし、橋の整備をしつかりと要望する。また、災害時に町民の生命を守るための避難所の運営、充実を目指す。



公約について答弁する益子純恵町長

**質問** 「町の産業と地域コミュニティの発展」の公約について、どのように考えているか。

**答弁** 後継者の育成、農業においては、新規就農された方が継続して営農できるよう技術指導を含め支援をしていきたい。観光においては、町内を周遊できる回遊型観光を推進するための導線を整えていきたい。

**質問** 「地域医療と福祉の充実」という公約について、どのように考えているか。

**答弁** デマンドタクシーの利便性向上を図るとともに、福祉分野の連携、新たな体制の構築も視野に入れ、必要な時に受診ができる環境の整備に努める。また、認知症予防、早期介護予防、町民の皆様健康長寿に向けた取組を進めていきたい。

**質問** 「那珂川町で在り続けるための人口減少対策」という公約について、どのように考えているか。

**答弁** 私たちの故郷、那珂川町を次の世代に、しっかりと繋いでいくため、人口流出の防止に努めていく。那珂川町に住んで幸せであると感じて生活ができることが必要だと考える。

**質問** 町の発展のためには、町長自らがトップセールスマンとして積極的に活動することが欠かせないと考えているが、町長自身が果たすべき役割や取組は。

**答弁** 那珂川町がさらに輝ける町となるよう、住んでよし、訪れてよしの魅力ある町となるよう、全身全霊でトップセールスの役割を果たし、邁進していく。



# 一般質問！ 大金 清 議員

Q 新町長の選挙公約について

## 農林業従事者の育成と確保の具体的な政策は

(町長) 就農希望者に対する相談会や

林業の魅力を情報発信している



大金 清 議員

### 新町長の選挙公約

**質問** 農林業従事者の育成・確保についての政策は。

**答弁** 町とJAなす南、那須烏山市で構成する南那須地域新規就農者支援対策協議会では、南那須農業アカデミーの運営を行い、新規就農者の確保に取り組んでいる。また、地域おこし協力隊が中心となり、木と触れ合う機会を通じて、林業の魅力を発信し、林業従事者の確保につなげたい。

**質問** 町の道路網の整備はどう進めていくか。



危険な交差点(町道一渡戸大鳥線)

**答弁** 道路網の整備は、大規模災害時の安全確保に加え、工業・商業・農業の振興や観光周遊の向上、防災力の強化などの観点から必要不可欠であり、引き続き、国・県に要望するなど、早期の事業化に向け計画的に取り組んでいきたい。

**質問** 国道293号の改良事業の進捗状況は。

**答弁** 本事業は県の事業であり、矢又地区は、令和4年度より調査

に着手し、現在、設計を実施している。

**質問** 町道一渡戸大鳥線1.6kmが未計画であるが、いつまでに行うのか。

**答弁** 国道293号との交差点について、関係機関と協議を行い、改良計画について検討していきたい。

**質問** 出産祝い金制度の創設の具体的な考えは。

**答弁** 具体的な検討はこれからである。現在の事業の効果を検証し、新たな命の誕生のお祝いを、子育て支援施策の一つとして、先進地事例を調査し検討したい。

**質問** 出産祝い金制度を県内の市町で独自で実施している市町を把握しているか。

**答弁** 把握している市町としては、金額は3万円から5万円、対象は第2子や第3子以降としている。

**質問** 次期振興計画を策定中であるが、新町長としての思いを、振興計画に盛り込むのか。

**答弁** 振興計画は、私の思いを実現するために町民の皆様と共有するものであることから、10年後・

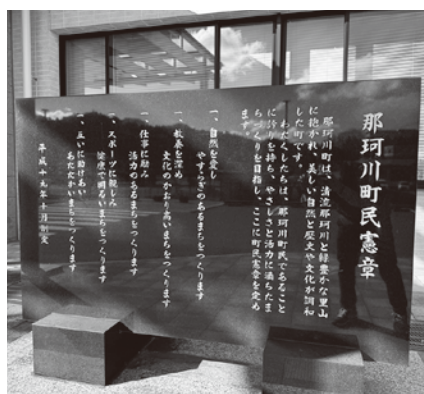
20年後の未来のために、希望に満ちた計画になるよう、しっかりと取り組んでいきたい。

**質問** かじを取る立場として強い思いを抱いているとのことについて、具体的に町長の考えは。

**答弁** 議員として8年間、一般質問を通して様々な政策を提言し、実現に向けて振興計画への反映を強く訴えてきた。温めてきた1つの政策実現に向けて計画の細部へ入り込んでいきたい。

**質問** 町民憲章と振興計画の整合性についての考えは。

**答弁** 町の理念である町民憲章は、次期総合振興計画においても、しっかりと生かさなければならないと思う。



町民憲章

## 一般質問！ 矢後紀夫 議員

Q デマンドタクシーの利便性向上について

### デマンドタクシーの那須南病院への乗り入れは

(町長) 実現に向けて検討している



矢後紀夫 議員

**質問** 将来的に町民の満足度向上のため土日運行を目指す考えがあるか。

**答弁** 運行事業者が現在1社のため、現時点でデマンドタクシーの土日運行は難しい。

**質問** 小学生が一人でもデマンドタクシーに乗車可能にし、屋内水泳場にも容易に出かけられるよう、利用条件の見直しをするべきでは。

**答弁** 施設利用にも地域的不公平差が生じないよう条件見直しを検討する。

**質問** 現在の48箇所ある乗降場所は、市街地に集中していて移動範囲に隔たりがあるため、乗降場所をまだまだ増設するべきでは。

**答弁** 利用者や町民の要望に沿って今後乗降場所の増設を検討していく。

**質問** 将来的に自由に乗降可能な運行体制を目指す考えがあるか。



デマンドタクシー

**答弁** 地形的な課題や既存タクシー事業者との競合問題があるため、自由化ではなく乗降場所の追加で利便性の向上に努めたい。

**答弁** AIデマンド交通システムとスマートフォンアプリ予約システムの導入を検討している。

**質問** 利用者の大半が高齢者である現状から、AIもスマホアプリ予約も、利用者からは受け入れ難いシステムではないか。

**答弁** AIデマンド交通システムの周知とスマートフォン講習会などの実施が効果的であると考え対応していきたい。

**質問** 現在の利用者減少、収支率低下のデマンドタクシー事業において利便性向上施策、AIデマンドシステム導入の財源をどう考えているか。

**答弁** 引き続き活用可能な補助金の調査研究と利用者増によって財政負担の軽減に努める。

#### デマンドタクシーの利便性向上

**質問** 町民が切望しているデマンドタクシーの那須南病院への乗り入れを再度提案する。

**答弁** 町民の要望に応え、実現に向けて運行事業者と協議、検討に入った。

**質問** 現在の1日6便の運行体制から、最低でも1日10便の運行体制にするべきと考えるが。

**答弁** 利用者の待ち時間の長さや、町民の要望を考慮して増便を検討する。

**質問** 町長公約にある、AIデマンド交通導入についての考えは。



## 一般質問！ 小川正典 議員

- Q 改修した小川放課後児童クラブについて
- Q ジビエ活用の見通しについて
- Q 熊出没時の対応について

### 小川放課後児童クラブに常設ではなく

### 仮設トイレを設置した理由は

(町長) 建物の構造・面積や立地上、

常設トイレの設置は難しいため



小川正典 議員

**質問** 仮設とは一時的に設ける施設であり、仮設トイレを使い続けることは、安全・安心な居場所を提供する理念に反していると考え

**答弁** 永久に固定せず、一定期間使用する。

### 小川放課後児童クラブ

**質問** 移転に伴う改修内容は、

**答弁** 出入口の新設及び照明をLED化に改修し、仮設トイレを4基設置したほか、雨よけの設置、桜の木を伐採した。

**質問** 仮設トイレは屋外で冬は寒

く危険であり、夏は悪臭が漂う可能性があるが、常設トイレを設置する考えは。

**答弁** 当面は現在の設備で運営していく。



小川放課後児童クラブの仮設トイレ

**質問** 児童が移動する通路に雨水用のマンホールの段差があり、ケガをする恐れがある。対処方法は。

**答弁** 学校の敷地であり、所管課だけでは判断出来ないもので、可能な対処方法は学校と相談する。

**質問** 危険な箇所について、安全性を確認しないと対処出来ないではなく、すぐに修繕を図って頂きたい。

**答弁** 教育委員会事務局及び学校と相談し協議する。

### ジビエ活用の見通し

**質問** 捕獲されたイノシシの受入再開時期の見通しは。

**答弁** 年間60頭検査し豚熱に感染したイノシシが1頭以内であれば、令和8年8月再開可能である。

**質問** 当町は近くに豚舎があることから、陽性率の基準が5%と他地区の10%と比べて厳しいのか。

**答弁** 養豚業者を豚熱感染から守るために必要な措置である。

**質問** 豚熱感染の撲滅を図るために、県に対しワクチンの空中散布回数を増加する要請を。

**答弁** 豚熱感染を防ぐ有効な手段なので実施回数増加を要望する。

**質問** ワクチンの散布している地域は。

**答弁** 馬頭地区の国有林がある地域で、小砂、和見、大内、大那地、矢又、富山、松野などである。

**質問** 鹿肉をジビエとして取り扱う考えは。

**答弁** 町内で捕獲した鹿の受入は可能と考えるが、施設の設備や衛生面を確認するとともに、他の市町を参考に、調査・研究する。

### 熊出没時の対応

**質問** 当町において、熊の出没が確認された場合の対応は。

**答弁** 熊等出没時対応マニュアルを作成中で、関係機関や町民に緊急告知など、情報発信する。

**質問** 町内でライフル銃を所持されている方の人数は。

**答弁** 3人である。



## 一般質問！ 川俣義雅 議員

Q 町職員の働く環境について  
Q 空き家バンクの取組について

### 町職員の働く環境の改善が必要ではないか

(町長) 改善は不可欠。職員一人ひとりが

力を合わせて町民サービスにあたりたい



川俣義雅 議員

**質問** そのほかにサービス残業があるのではないか。

**答弁** あることは承知している。

**質問** 日本人の平均労働時間は欧州諸国より年間300時間多いと聞いているが、町が適正と考える職員数に対し現状はどうか。

**答弁** 計画の223人に対し、現状は209人となっている。

**質問** 計画通りに職員が増えない原因は。

**答弁** 民間との競争や専門職の確保が困難なことがあげられる。また、早期退職もある。

**質問** 日本の公務員の人件費はOECD平均の約半分で最低。県内11町の中で那珂川町の給与水準は。

**答弁** 下から2番目である。

**質問** 超過勤務はどれほどか。

**答弁** 一日一人当たり平均50分程度である。

**質問** 町職員の働く環境を改善すべきと思うが。

**答弁** 改善は不可欠。適切な給与水準、ワークライフバランス、チームワークの強化等でありがいをもって町民サービスにあたりたい。

### 空き家バンクの取組

**質問** 空き家バンク事業の物件登録数、利用希望者数、契約数の推移は。

**答弁** 直近3年間の登録はR4…11件、R5…16件、R6…12件。利用希望者はR4…47件、R5…43件、R6…77件。契約はR4…8件、R5…9件、R6…8件。

**質問** 物件登録したものは高確率で契約につながっているのが重要。登録を増やすために行っていることは。

**答弁** 空き家バンクの周知等を工夫、努力してきた。

**質問** 以前、高知県梶原町の取組を紹介し、検討するとの答弁があったが。

**答弁** 梶原町では、町が空き家所有者から10年間借り上げ、リ

フォームを行い希望者に貸し出しをしているが、多くの検討課題があるため、今後必要性を判断したい。

**質問** 物件登録数の増加に向けた今後の取組は。

**答弁** 物件登録説明会等で、空き家バンクの認知度をさらに上げていきたい。

**質問** チラシで契約件数等も知らせることが必要ではないか。

**答弁** チラシの内容も検討したい。

**質問** 富山県上市町では「0円空き家バンク」事業を行っている。ぜひ、検討してもらいたい。

**答弁** 調査検討していきたい。



町の地域資源情報バンク(空き家バンク)のサイト

## 一般質問！ 福田浩二 議員

Q 公共事業の発注について

Q 町長の公約にある通学、通勤者への交通費支援について

### 政治倫理上、透明性についてどのような考えを

(町長) 利益相反と疑義を抱かれるような行為を厳に慎む



福田浩二 議員

#### 公共事業の発注

**質問** 町の公共事業は金額が大きいものが多々あるが、どのような方法で発注しているのか。

**答弁** 入札方法については一般競争入札、指名競争入札、随意契約の3つの手続により行っている。

また、電子入札システムの導入に併せて、建設工事、建設関連の業務委託においては予定価格を事前公表している。

**質問** 発注者が町長、受注者が町長の親族会社というのが、まさに利益相反に当たるのではないか。

**答弁** 町長の親族が経営する法人については特段制限する規定はない。町の入札契約や事務執行においては、公平性や透明性に努め厳格な入札事務を執行しているため、利益相反には該当しないと考える。

**質問** 町長は政治倫理上透明性についてどのような考えを持っているか。

**答弁** 私の職務は、町民全体の利益を守り、負託に応えることである。適切に事務執行を行い、その職責を全うしていきたいと考える。

#### 通学・通勤者への支援

**質問** 公約にある「日常生活を快適に過ごせるために」の中の学生と社会人のための交通費支援制度の考え方は。

**答弁** 町外へ通勤、通学をされている町民の経済的な負担軽減を図り、将来にわたり安心して町内で生活していただけるよう支援制度の創設について検討をしていきたい。その中でも、町外への通学者に対しての支援を優先的に進めたいと考える。

**質問** 制度の創設にあたっては、公平性の確保が懸念されると思うが。

**答弁** 支援内容の統一は難しい。様々な移動距離や移動手段による費用等を調査した上で支援内容の詳細を検討する。

**質問** 雇用されている人には通勤手当が支給されていると思うが。

**答弁** 町が支援することで通勤手当が調整されてしまうようでは本末転倒。町民が支援による利益を享受できるよう慎重に検討していきたい。

**質問** 町外への通勤者のみ交通費支給は不公平感があり、距離計算では、計算が複雑化してしまうと思うが。

**答弁** 通勤距離や単に町外だからということでは公平性の確保が難しい。今後、制度の詳細について詰めていきたい。





## 一般質問！ 神場圭司 議員

Q これからのスポーツ振興について

**町長の公約にはないスポーツの重要性についての考えは**  
(教育長) 町長の想いを次期計画において具現化していく



神場圭司 議員

これからのスポーツ振興

**質問** スポーツの振興のためにプロスポーツ地域支援パートナー協定を結ぶべきと考えるが。  
**答弁** 町全体の機運や町民の関心に応じて必要であれば調査研究を進めていく。

**質問** 町からプロ野球選手3名、プロサッカー選手1名、プロゴルフアーリー名が輩出されていることから、現状こそ、「機運の盛り上がり」だと捉えているが、町の考えは。

**答弁** 関係団体の盛り上がり把握するなどして、検討していきたい。

**質問** 他市町ではメリットがあるから地域支援パートナー協定を締結していると考えるが、町には必要ないということか。

**答弁** 現時点ではパートナー協定を結ぶ予定はないが、町にとつてのメリット、効果を他市町から聞き取りをするなどして検討する。

**質問** 今後も更にプロスポーツ選手が輩出できるよう、町が主体となった教育プログラムを企画・実施していく考えは。

**答弁** 特定のスポーツに対して限定的に支援することは、町のスポーツ、レクリエーションの振興における多様性を重んじる趣旨とは異なるため、プロスポーツ選手育成のための教育プログラムは実施しない。



日本サッカー協会による巡回指導

**質問** 日本サッカー協会による、無料で出来る巡回指導の受け入れについても、町長の公約にある「将来を担う子供たちが活躍できる力を育む」の考えからも是非、取り入れてみるべきと考えるが。

**答弁** 県で資質の高い子どもたちにはアスリートプログラムを行っている。町長の公約をどのように具現化していくか検討し、施策に反映させていく。

**質問** 充実したスポーツ活動を行うためには、既存施設の機能強化や新たな施設整備が必要であると考えるが。

**答弁** 現在の施設の運営状況や設備の老朽化度、利用率などを参考に社会体育施設再編計画により計画的に進めていく。

**質問** 各スポーツに合った専門の施設が町にも必要と考えるが。

**答弁** 町全体のスポーツ振興や体育施設の在り方を検討する中で専門の施設が必要か調査研究を行っていく。



馬頭高校生との意見交換

# 高校生と議会 次世代の声をきく!



## 主題 ～ 那珂川町に望むこと ～

令和3年度から継続して実施している、那珂川町議会と馬頭高校生との意見交換会を11月6日に議場で開催しました。

馬頭高校からは、生徒会役員の生徒11名が参加し、「これからも住み続けたい那珂川町を一緒に語ろう」をテーマに議員と意見交換を行いました。

### 議題1 広報紙「議会だより」のことが聞きたい

議題1では、「議会だよりのことが聞きたい」と題して、高校生にとって議会だよりはどのような存在なのか、どのような内容なら興味を持って読んでもらえるのかなど、若い世代の方にも読んでもらえる工夫について意見交換をしました。

**質問** 昨年、表紙に私たちを取り上げていただいたことをきっかけに、初めて議会だよりを読んできましたが、文字が多く、もっと画像やイラストが増えたら興味を引きやすいと感じた。そこで、今後小中高生でも読みやすくなるために、何か考えていることはあるか？

(3年・薄井梨紗さん)

**答弁** 議会だよりにはモニター制度があり、モニターになっていたいただいた町民の方から意見をいただ

いている。議会だよりの記事は、内容が難しい部分が多いので、写真を多くしたり、言葉の意味を分かりやすくしたりするなど工夫はしている。今後も皆様に読んでもらえるよう改善していく。

**質問** 議会だよりの内容を、若者が日常的に使用しているSNS等に動画として載せることが良いのではと感じた。町の議員さんがYouTubeの広告で活動内容を流しており、学校中で話題になるほどの影響力があったことから、SNSの活用により、若者が議会について知る「きっかけ」になると考えた。そこで、今後SNSを活用した広報を実施していく予定はあるか？

(3年・桑野琴音さん)

**答弁** 現在の広報委員会において、SNSへの投稿は考えていないが、若い人たちが求めているのであれば、協議しながらSNSの活用を考えていきたい。



議員へ質問する高校生



議題2

馬頭高校存続のために町ができることは？

議題2では、「馬頭高校存続のために町ができることは？」と題して、馬頭高校における生徒数の減少は、学校運営の存続を危惧するものであるとして、高校存続に向けた現実的かつ効果的な支援策について意見交換をしました。

**質問** 近年、学校祭ではクラス数減少の影響から、出し物の数も減り、盛り上がりにかける部分がある。そこで、個人のお店やキッチンカーなどを学校祭に呼ぶことで学校祭が盛り上がり、中学生へのアピールにも繋がると考える。このような取組は可能か？

(2年・間根山由奈)

**答弁** 個人のお店やキッチンカーを呼ぶことは可能であると考え。昨年、烏山高校における成功事例もある。

**質問** 馬頭高校では、企業説明会を定期的に行ったり、2学年時には一週間のインターンシップを行ったりしている。町が主体で地元企業・商店へのインターンシップの機会をさらに増やすことで、馬頭高校生の進路が充実し、馬頭高校の存続に繋がると感じている。

る。そこで、高校生の就職に対して何か支援を行う予定はあるか？

(2年・荒井風紗)

**答弁** 馬頭高校の先輩で、インターンシップから役場に就職した事例もある。高校生と地域の企業が、インターンシップなどにより繋がる機会が増えていることは素晴らしいこと。議会としても町を通して機会を増やすことができるよう、積極的に要望していく。



高校生の質問に答える議員

**質問** 馬頭高校は全国唯一の内水面水産科があるのにも関わらず、町内で就職できるところはごくわずかである。町が何らかの支援を行い、馬頭高校生が就職できる地元の水産業が増えるような支援はあるか？

(2年・橋本 旬)

**答弁** 町の水産業は、過去に温泉トラフグやナマズなどもあったが、養殖がうまくいかず、現在は撤退してしまった。その他に、ホンモロコもあるが、雇用を創出するほどではない。

議題3

これからの那珂川町に望むことは？

議題3では、「これからの那珂川町に望むことは？」と題して、高校生が町に対して思っていることについて意見交換をしました。

**質問** 私や友人達は、定期試験前の勉強場所に困っている。普段は放課後に教室で先生方に勉強を教えていただいているが、バスの終便の影響から18時までしか残ることができず、私が住んでいる地域には帰宅後に勉強を教えてくださる方がいない。そこで、無料の塾のようなものを、町内に開設する予定はあるか？

(3年・山崎真衣)

**答弁** 公営塾を実施している自治体はあるが、設置するには様々な問題がある。議会としてもどのようなにしていけるか良いのか、研究していきたい。また、町には「HITOTEMA」がありコミュニティスペースもある。

質問

これからの那珂川町に望むことは、豊かな自然を活かした山登り場などのアクティビティ施設の充実である。これにより、町民の健康促進イベントの開催や、町外からの観光客が遊びに来るなど、町の活性化となり、その結果として、移住者が増えるなど、人口の増加にも繋がると考える。そこで、このようなアクティビティ施設を充実させる予定はあるか？

(3年・國安優心)

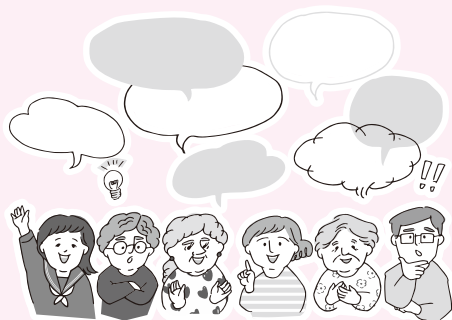
**答弁** 町に施設があれば、交流人口の増加が見込まれる。とても良いアイデアであると思う。今後、議会からも提案するなど、実現に向け検討していきたい。



全員での記念撮影

## 議会報告会の開催

町民と議員がワークショップ形式で意見交換を実施 /



# 那珂川町の 魅力をみんなで考えよう！

～ 輝きとうるおいにみちあふれた わくわくするまちへ ～



あいさつする益子明美議員

1月17日に小川総合福祉センターの多目的集会室において、議会報告会を開催しました。報告会には、高校生を含む26名が参加し、6つのグループに分かれて「那珂川町の魅力をみんなで考えよう」をテーマに意見交換を行いました。また、今回の意見交換は、前回に引き続きワークショップ形式を取り入れた形で実施し、参加者のみなさん同士、活発に意見を出し合っていました。



発表する高校生

意見交換の前半は、「那珂川町の魅力は？」をテーマに、話し合いました。参加者は、自分の意見を付箋紙に書いて模造紙に貼っていく、意見が貼られると、共感や新たな気づきの声が聞こえ、盛り上がりを見せながら意見をまとめました。出された意見は参加者同士が協力して分野ごとに整理し、発表を行いました。

### 議題1

#### 那珂川町の魅力は？

ファシリテーターの矢後紀夫議員が進行を務め、意見交換における進め方や留意事項の説明のあとワークショップが始まりました。意見交換では「全員が発言すること」、「発言した人の意見を否定しないこと」をルールとし、各議題について熱心に議論がされていました。また、グループには議員も加わり、作業の進行管理や意見のまとめなど参加者と協力してワークショップを行いました。

### 議題2

#### 魅力をどのように発信するか？

意見交換の後半は、「魅力をどのように発信するか？」をテーマに、前半で出した町の魅力を、どう発信していくかを話し合いました。中には、議題1でまとめた模造紙を壁に貼って、どうしたら効果的な発信ができるかなどを議論しているグループもありました。各グループにおいて出された意見で多かったのは「SNSの活用」であり、特に若い世代へ魅力を伝えるツールとしては重要であると感じました。



グループ内の意見交換の様子



- **那珂川町の魅力**
- ・生活がしやすい気候
  - ・人と自然の距離が近い
  - ・歴史や文化が人を惹きつける
  - ・自然が豊かで貴重
  - ・農業が盛んで食の産物が多い
  - ・特色のある馬頭高校水産科がある
  - ・おいしい食べ物がたくさんある
  - ・たくさんの温泉がある
  - ・優しい人が多い
  - ・人情深く、温かく、元気な人が多い

各グループから出された意見



グループごとにまとめた意見を発表



ファシリテーターを務めた矢後紀夫議員

- **魅力をどのように発信するか**
- ・SNSによる拡散
  - ・ターゲットを絞って発信する
  - ・食でギネスに挑戦（イチゴ大食い、日本一長いそば等）
  - ・馬頭温泉郷とまほろば温泉をつなぐ空中ケーブルカーを設置
  - ・「ナカスイ」アニメ化、実写化
  - ・役場内に情報発信課の設置
  - ・温泉スタンプラリーの実施
  - ・自然、文化、食を生かした観光ツアーやイベント
  - ・首都圏でイベントを開催し、特産品を販売する
  - ・有名人を呼んでマスメディアでPRする
  - ・東京に那珂川町のアンテナショップを作る
  - ・馬頭高校水産科でサミットを開催する





消防団との意見交換

総務産業常任委員会は、11月18日に那珂川消防団と意見交換会を実施しました。

意見交換会では、川上満団長をはじめ5名の役員らが出席し、団体の現状や、課題として団員の確保や装備品の充実などについて意見交換を行いました。意見の中では、様々な手法による団員確保や安全に活動できるよう装備品の充実が必要であるなどがあげられました。

## 総務産業常任委員会 那珂川町消防団と 意見交換



PTA 連絡協議会との意見交換

教育民生常任委員会は、12月9日にPTA連絡協議会と意見交換会を実施しました。

意見交換会では、関根沙織会長をはじめ8名の役員らが出席し、PTAの在り方や中学校部活動の地域移行における課題などについて意見交換を行いました。意見の中では、少子化が進む中で中学校部活動の存続を不安視する声や今後はPTA活動が保護者の負担とならないような工夫が必要であるなどがあげられました。

## 教育民生常任委員会 那珂川町PTA 連絡協議会と意見交換

聞いてみた

## 二十歳のいま、政治ってどう思う？ ～二十歳の祝い 議会に関するアンケート～

1月11日、あじさいホールで行われた「二十歳の祝い」には、益子議長をはじめとする議員たちが参加し、若者たちの門出をお祝いしました。

また、二十歳を迎えた若者たちに政治や議会への関心を高めてもらうため、昨年に続き「議会に関するアンケート」を実施しました。アンケートは、選挙に行ったことがあるかなど全10項目あり、式典に出席した86名に配布し、式典終了後に議員が回答を呼びかけた結果、66名が回答しました。

(回答率76.74%)

問 選挙権を得てから選挙には行きましたか？

- ・はい ..... 41名
- ・いいえ ..... 23名

問 どのような選挙に行きましたか？  
(複数回答可)

- ・国政選挙 ..... 14名
- ・知事選または県議選 ..... 15名
- ・町長選または町議選 ..... 27名

問 国会やあなたの地域の議会の傍聴またはテレビやYouTube等で見たことがありますか？ある方は、何で見ましたか？

- ・ある ..... 26名
- ・ない ..... 38名

問 若い世代が議会に興味を持つためには、どのような事が必要と考えますか？

- ・若者に伝わりやすいSNSを活用する ..... 39名
- ・若い人が議員になる ..... 18名
- ・学校で議会のことを学ぶ機会を設ける ..... 9名

問 議員になってみたいと思いますか？

- ・はい ..... 4名
- ・いいえ ..... 61名

問 これからも那珂川町に住み続けたいですか？または、将来戻ってきたいですか？

- ・はい ..... 24名
- ・いいえ ..... 39名

問 那珂川町をどんな町にしたら良いと思いますか？(自由記載)

- ・交通の便を良くする
- ・若い人向けの施策を行う
- ・人が集まる町
- ・活気あふれる町
- ・高齢者に優しい町
- ・商業施設を増やす
- ・自然の豊かさを守る
- ・元気に明るく暮らせる町

問 那珂川町議会へのご意見・ご要望などがあればご記入ください。  
(自由記載)

- ・良い町にしてください
- ・頑張ってください
- ・商業施設を増やしてほしい
- ・バスの本数を増やしてほしい





# 議会改革の調査結果を報告

(12月定例会最終日)

## 特別委員会設置から3年、7項目の検証結果は…



調査報告をする大金市美委員長

12月5日、定例会最終日に議会改革特別委員会の大金市美委員長が議会改革特別委員会調査報告を行いました。議会改革特別委員会は、令和4年12月定例会において設置され、議員全員を委員として3年間に渡り、調査・検討をしてきました。委員長は、各項目の成果について説明した後、当町における議会改革の経過を踏まえ、今後も、より質の高い議会運営を目指して行くとともに、住民の付託に応え、議会の役割を十分に果たす必要があるとし、継続的な取組の重要性についても説明しました。

### ●議会改革特別委員会調査報告書

#### <議会基本条例の検証>

平成26年3月に制定されてから約10年が経過し、施行後初めての検証を行いました。検証結果は、概ね達成できていることが確認できましたが、本条例は町民と議会をつなぐ重要な枠組みであることから改善を重ね、開かれた議会の実現に向け、引き続き取り組むこととしました。また、今後は議会運営委員会において検証していくこととしました。

#### <議会業務継続計画(BCP)の策定>

議会業務継続計画は、町地域防災計画及び町防災会議に基づき、風水害・地震や重大な感染症の拡大などの、緊急事態が発生した際においても、議決機関として会議の迅速な意思決定及び議会の機能維持を図るため、災害等発生時における組織体制、議員の役割及び行動方針などを定めるために策定しました。

#### <議会会期のあり方>

議会会期は、通年議会の導入について調査・検討を進めてきましたが、現状の議会運営で不都合が生じていないことから、引き続き議会運営委員会において検討していくこととしました。

#### <ICTの活用>

近年のデジタル技術の急速な発展とともに、議会においてもICT活用の重要性が高まっていることから、様々な視点から調査・検討を行いました。その結果、現時点における必要性等を考慮し、今後も継続的な検討が必要であるとししました。

#### <議員定数の見直し>

議員定数については、今後も見込まれる人口減少や議員のなり手不足、町の財政状況などを考慮し、定数を削減する必要があるとする一方で、町民の声が届きにくくなるなどの意見がある中、調査・検討を重ねました。検討にあたっては、議会基本条例に基づき、参考人招致や公聴会、町民説明会を実施し、幅広く町民から意見を聴きました。その結果、議員定数を削減しても議会の機能を損うことなく、町民の付託に応えられるよう、議員一人ひとりの資質の向上に努めることとし、議員定数を現在の13人から2人減の11人とししました。

#### <議員報酬の見直し>

議員報酬については、合併後約20年間見直しが行われていないことや、現在の報酬額が近年の物価高騰等の社会情勢に対応できていないことなどを理由として増額を検討してきました。報酬額の算定にあたっては全国町村議長会で提言している、議員の活動量と首長の活動量を比較し、適正な報酬額を算出する、「原価方式」により算出しました。見直しにあたっては、議員定数と同様に参考人招致等を経て多くの意見をいただき進めてきました。その結果、町の財政を考慮したうえで、社会情勢への対応や議会活動の多様化、なり手不足の解消を理由として、議員報酬の額を現行の22万円から5万円増の27万円に増額することとしました。

#### <政務活動費の導入>

政務活動費については、議会の活動量は増えている傾向にありますが、町への財政負担を考慮するとともに、議員報酬の範囲内で効率的な活動が行えるよう、各議員において努力すべきとして、現段階で政務活動費の導入は行わないこととしました。

## 議会広報モニター からの「ご意見」感想

議会広報モニターさんから寄せられた議会だより第81号(前号)に関する「ご意見・ご感想」について、一部をご紹介します。

先進事例の視察を拝見し、大変参考になりました。取り組みの実例に触れ、今後の町の未来に対して大きな期待と関心を抱いております。

先月に議会モニター懇談会が開催され、2名の出席で3名の方が欠席で大変残念であった。モニターの中に中学生がいらっしゃるが平日の午前中の会議に出席できるのであるのか。日時の設定に問題はなさだろうか。

委員会より…

先日の議会モニター懇談会では出席者が2名にとどまり、3名の方が欠席されたことを残念に感じております。また、中学生のモニターの方にとって平日午前中の参加が難しいのではないかとのご指摘については、貴重なご意見として受け止めております。今後は、より多くの方が参加しやすいよう、日時設定の見直しも含め検討してまいります。

各種補助金の申請件数が少ないのは、どのような補助金があるのか知らないからではないか。

委員会より…

各種補助金の申請件数が少ない原因の一つとして、どんな補助金があり、どんな条件なのかなどの周知不足にあるのではないかと考えます。

「決算審査特別委員会の付帯意見」が掲載されておりましたが、特に各種補助金の見直しについて、申請件数の少ない理由が気になりました。私が一人の町民として、受けた補助金を調べようとした時、那珂川町のHPはとても分かりにくいと感じます。各種補助金の一覧性や魅力の訴求、申請条件を分かりやすく見直していただきたいと思えます。

委員会より…

HPの分かりにくさや、補助金情報の一覧性・申請条件の理解しづらさについてのご指摘は、関係部署へしっかりと伝えします。

他市町への視察が、当町ではどのように取り入れていくかのビジョンを示していて、とてもわかりやすく良かったです。

委員会より…

当町での活用の方角性が分かりやすかつたこの評価を頂戴し、大変励みになります。今後も分かりやすい情報提供に努めてまいります。

## 《常任委員会の経過》

### 総務産業常任委員会

開催日 12月4日

町へ提出する要望書への要望事項について協議を行いました。

### 教育民生常任委員会

開催日 12月4日

町へ提出する要望書への要望事項について協議を行いました。

開催日 2月2日

所管する担当課から各計画の策定や令和8年度の事業について説明を受けました。

### ◆第4期那珂川町地域福祉推進プラン(案)について

【健康福祉課】

町の地域福祉計画と社会福祉協議会の地域福祉活動計画を一体的に推進するための本計画について説明を受けました。

### ◆那珂川町健康増進計画(案)について

【健康福祉課】

健康なかがわ21プラン・2期計画の中間見直しにより策定する本計画について説明を受けました。

### ◆乳児等通園支援事業について

【子育て支援課】

令和8年度から全国の自治体で実施が義務となる本事業について説明を受けました。

## 《特別委員会の経過》

### 議会改革特別委員会

開催日 11月18日

議会改革特別委員会調査報告書(案)について協議を行いました。

### 議会広報特別委員会

開催日 12月23日

議会だより(当号)における表紙等の題材や原稿の担当について協議するため、編集会議を行いました。

開催日 1月22日

議会だより(当号)における紙面構成及び広報モニターへの返答内容を協議するため、編集会議を行いました。

開催日 1月29日

議会だより(当号)における、誌面構成の最終確認のため編集会議を行いました。

## 令和8年度事業の 更なる拡充を要望

12月23日に、益子明美議長と福田浩二副議長が町長室を訪れ、令和8年度の施策等に関する要望書を益子純恵町長に提出しました。

要望書では、令和7年に実施した各常任委員会における行政視察や団体との意見交換会で出された課題などをもとに、町の重点施策の拡充など6項目をまとめました。益子純恵町長も、しっかり取り組んでいきたいと話されました。



益子純恵町長(左)に要望書を提出

### 町村議会議長会 議員研修

11月25日、県総合文化センターにおいて、栃木県町村議会議長会主催による町村議会議員研修会が開催されました。

研修会では、全国町村議会議長

会議事調査部の皆川貴史氏から、「議員報酬の改善に向けた現況と課題」として、町議会の実態を踏まえた報酬改善はもとより、今後の議会活動の在り方について講演がありました。

次に、一般社団法人地方公共団体政策支援機構の渡辺太樹氏から、「議会におけるデジタルを通じた政策立案・政策議論とは」として、町の現状を把握するためにデータを活用する重要性について講演がありました。渡辺氏は、移住定住の施策においても、やみくもに施策を展開する前に、自分の町の人口の動きとして転出先や転入元をしっかりとデータで把握することで、現状を正しく知り、適確なアプローチ先や手法を選択できると説明がありました。

また、1月26日には、渡辺氏を講師に迎え、当町議会の研修会を行いました。



講義をする渡辺太樹氏

## 議会のうごき&内容

### 2月

2日 教育民生常任委員会  
10日 議会だより82号発行

### 1月

17日 議会報告会（小川総合福祉センター）  
20日 山形県最上町議会視察来町  
22日 議会広報特別委員会（第21回、82号編集）  
26日 議会研修会  
29日 議会広報特別委員会（第22回、82号編集）  
30日 和歌山県かつらぎ町議会視察来町

### 12月

2日 令和7年第6回議会定例会（議案審議）  
3日 予算審査特別委員会  
4日 令和7年第6回議会定例会（一般質問）  
5日 総務産業常任委員会  
9日 教育民生常任委員会  
23日 議会広報特別委員会（第20回、82号編集）

### 11月

10日 議会だより81号発行  
18日 議会改革特別委員会  
総務産業常任委員会（団体との意見交換会）  
25日 栃木県町村議会議長会議員研修会（宇都宮市）  
26日 議会全員協議会  
議会運営委員会  
27日 南那須地区広域行政事務組合議会議員全員協議会  
南那須地区広域行政事務組合議会臨時会



## 馬頭高等学校水産科

岡本 奏夢 さん  
橋本 旬 さん  
市村 永遠 さん



3人は、愛媛県立宇和島水産高校で開催された全国水産海洋高等学校生徒研究発表会に出場し、その結果「東京海洋大学学長賞」を受賞しました。取材の中では、長い研究を経て得られた成果や今後の目標などを語ってくれました。今回の研究は、取材を受けてくれた3人のほか、平野愛翔さん、平山凌さんの2人も共同で行っており、5人の努力が身を結んだ結果を感じました。

なかなちゃんが聞きました。

Q 何人で研究したの？

A 5人で研究したけど、発表は3人でしたよ。

Q 研究のタイトルは？

A 「淡水二枚貝ヨコハマシジラガイ貝殻表面の成長線による年齢調査について」だよ。

Q 研究しようとしたきっかけは？

A 1年生の時は別の研究をしていたけど、研究を重ねていたら今の研究に繋がったんだ。

Q 今回の研究はどのくらいかかったの？

A 1年生の時から積み重ねて、約2年弱かかったよ。



Q 研究で大変だったことは？

A 研究の材料貝のサンプルを採取する際に、真夏の中、中腰でひたすら集めていたから大変だったよ。

Q 全国大会の感想は？

A プレゼンをわかりやすく説明したから、制限時間がオーバーで減点になっちゃったんだ。とても良い研究だったから悔いが残ったよ。

Q 今後の目標は？

A まだ1年あるからリベンジして1位を獲りたいな。

Q 最後に馬頭高校水産科の魅力や良いところを教えてください。

A 全国唯一の内陸における水産専門学科として、淡水魚に特化しているから専門的にも学習したい人にはもってこいだよ！そして、何より先生の知識が豊富で学ぶ環境がとても良いから興味のある人は、ぜひ馬頭高校に来てほしいな。



5人で研究した成果が出たんだね！次の発表会で最優秀賞が獲れることを期待しているよ！

## 議会を傍聴しませんか

皆さんの身近な問題などが審議されます。

あなたも傍聴してみませんか。

次の定例会は、3月3日(火) 開会  
(令和8年第1回議会定例会)の予定です。

議場は、庁舎2階です。

ケーブルテレビ(11ch)で議会が生中継されます。

第6回12月定例会の  
議会傍聴者数

2日	4人
3日	30人
4日	4人
5日	1人

## ●表紙写真

今号の表紙は、議会報告会で行われたワークショップグループの「コマ」です。各グループについて意見を出し合っており、町民の方々と議員が真剣に取り組んでいる様子がとても印象的でした。魅力を効果的に発信できれば、町の活性化につながるのではないのでしょうか。

## 編集後記

議会広報特別委員会に携わってきつて、という間に4年が経ちました。委員会では、副委員長という立場でいろいろな経験をさせていただきました。議会だよりの表紙の撮影やキラリまちおこしの取材、モニターさんへの返答、全体のレイアウトの検討などたくさん関わってきました。その中でも、矢後委員と議会だよりの表紙撮影に同行させていただいた際の写真へのこだわりは勉強になりました。

また、広報委員会では何度も繰り返し誤字脱字を確認して発行しますが、読んでいただいた方から誤字があると報告をいただくなど、気づかなかったことへの反省とともに、細かいところまで読んでいただいているという嬉しさもありました。

個人的にはもっと硬い文章などを取り除き、分かりやすい方法で議会だよりを読んでいただきたいと考えております。また議会広報委員会に携わる機会がありましたら、難しいとは思いますが、誰でも簡単に議会のことを理解していただけるような議会だよりにしていきたいです。

議会広報特別委員会

神場 圭司

過去の議会だよりはこちらの二次元コードで見られます。

那珂川町ホームページ <https://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp/>

